

令和2年度東京都駐車場指定管理者評価委員会

令和3年7月13日

午後1時53分 開会

○大和田課長 恐れ入ります。定刻より若干早いのですが、よろしいでしょうか。それでは、ただいまから東京都駐車場指定管理者評価委員会を開催させていただきます。

私は、建設局道路管理部管理課長の大和田と申します。

委員の皆様には、御多忙のところ、指定管理者評価委員会委員に御就任いただき、ありがとうございます。また、本日は評価委員会に御出席賜り、誠にありがとうございます。

本委員会は、令和2年度の管理運営状況の評価を、二次評価として決めていただくものでございます。御審議のほど、よろしく願いいたします。

委員長が選出されるまでの間、私が事務局として進行を務めさせていただきます。

また、本日の会議につきましては、録音の上、議事録を作成させていただきますので、よろしく願いいたします。議事内容につきましては、原則公開を基本に対応してまいります。

それでは、会議に先立ちまして、事務局を代表しまして、東京都建設局道路管理部長の前田より御挨拶申し上げます。よろしく願いします。

○前田部長 建設局道路管理部長の前田でございます。どうぞよろしく願いいたします。

委員の皆様には、御多忙のところ、また、現在のような状況のところ、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

都営駐車場に指定管理者制度を導入いたしましてから、今年度で16年目に入ります。これまで指定管理者からの創意工夫ある提案を活かし、駐車場の利用拡大や、利用者の利便性、安全性、快適性の向上に努めてまいりました。また、委員の皆様方からいただいた御意見や御指摘を踏まえ、運営のさらなる改善に取り組んでいるところでございます。

令和2年度は、平成28年度からの指定期間、5年間の最終年度となりました。これまでに引き続き、全ての駐車場におきまして、30分未満の駐車料金を無料化して路上駐車対策に貢献するとともに、警察・消防との連携など、指定管理者として積極的な取組が見られました。

一方で、利用実績におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出機

会減少などの影響が見られました。こうした取組や利用実績を踏まえて、私ども所管局として一次評価をまとめたところでございます。

詳細につきましては、後ほど事務局から御説明させていただきますが、委員の皆様方には御専門の立場から御審議をいただき、二次評価をまとめていただければと存じます。この評価を指定管理者にフィードバックいたしまして、よりよい駐車場運営に活かしてまいりたいと考えております。本日はどうぞよろしくお願いたします。

○大和田課長 ありがとうございます。それでは、本日お越しいただきました委員の皆様を事務局から御紹介させていただきます。

初めに、駐車対策の専門家です。いらっしゃいます東京海洋大学名誉教授の高橋洋二委員でございます。

○高橋委員 高橋です。よろしくお願いたします。

○大和田課長 次に、防犯、治安部門の専門家です。いらっしゃいます元警視庁交通部参事官の伴都貴夫委員でございます。

○伴委員 伴でございます。よろしくお願いたします。

○大和田課長 最後に、企業経営の専門家です。いらっしゃいます公認会計士の守泉誠委員でございます。

○守泉委員 守泉でございます。よろしくお願いたします。

○大和田課長 会議に先立ちまして、お手元にお配りした資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の式次第と座席表をお配りしてございます。上に1枚ずつ付いてございます。次に、資料でございますが、資料1として、指定管理者評価制度の概要、これは1枚です。それから資料2、令和2年度東京都駐車場指定管理者管理運営状況一次評価概要、A4の1枚でございます。資料3として、東京都駐車場指定管理者評価一覧表（令和2年度評価）、これはA3、横版の2枚物でございます。それから資料4、東京都駐車場指定管理者一次評価、A3で10枚、20ページのものでございます。それから資料5、これまたA4に戻りまして、東京都駐車場指定管理者アンケート結果として、A4、5ページほどのものでございます。それから、資料6として、東京都駐車場指定管理者二次評価（案）、A4横版の6ページ物でございます。この他、参考資料としまして、参考資料1、東京都駐車場指定管理者評価委員会設置要綱、これは1枚。参考資料2として、東京都駐車場指定管理者評価委員会委員名簿、1枚。それから、参考資料3として、東京都指

定管理者制度に関する指針、これは20ページのものでございます。過不足等はございませんでしょうか。

それでは、続きまして、本委員会の委員長を選出させていただきます。東京都駐車場指定管理者評価委員会設置要綱第3条第2項に基づきまして、委員長は委員の互選により決定することとしております。どなたか御推薦いただけますでしょうか。

(「はい」の挙手あり)

○守泉委員 駐車対策に造詣の深い高橋委員を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。

○大和田課長 いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしということで、それでは、委員長は高橋委員に決定したいと存じます。

ただいまから当委員会の運営は委員長にお願いいたします。高橋委員長、よろしくお願いいたします。

○高橋委員長 委員長を仰せつかりました高橋でございます。よろしくどうぞお願いいたします。

先ほど部長さんからもお話がありましたように、この制度は平成18年度に導入されて、5年を単位に3期目の指定期間の最終年度になると思うのです。16年近くの歴史があって、それなりの実績を果たしてきたのではないかと思います。

指定管理者もいろいろな工夫をしながら、新しい試みを導入して、サービス水準を上げるという努力をしていると思います。

ただし、今年は新型コロナの蔓延で、現在も緊急事態宣言の下なのですけれども、いろいろと努力をしても、やはり利用者が少ないという面はあると思います。ある意味では、緊急事態宣言の効果が上がっているというような面もあるかもしれませんが、その辺について本日は特に御議論いただいて、適切な評価ができればと思います。よろしくどうぞお願いいたします。

それでは、早速始めたいと思います。最初に、指定管理者評価制度の概要を事務局の方で説明と、令和2年度の管理運営状況の一次評価について説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○大和田課長 それでは、お手元の資料1を御覧ください。指定管理者評価制度の概要でございます。

初めに、1、目的ですが、指定管理者制度を導入した施設について、サービスの履行、安全管理、法令遵守等の指定管理者が守るべき事項の確認を行うとともに、サービス実施状況や利用者満足度等をチェックし、その結果を管理運営業務に反映することで、サービスの一層の向上を図ることを目的としております。

2、評価方法等でございますが、最初に、評価対象からの除外について書いてございます。大規模改修工事等により1年を通じて通常の施設運営を行わなかった場合は、原則として評価を実施しないものとするのが、東京都指定管理者制度に関する指針に定められております。令和2年度につきまして、八重洲駐車場が該当いたしますので、評価対象外としております。

(1) 一次評価でございます。一次評価につきましては、指定管理者からの報告やヒアリング、現地確認により所管局が行う客観的評価でございます。所管部長が決定するものであります。

具体的には、40項目ある確認項目につきまして、特筆すべき取組や効果がある場合には水準を上回るとして2点、おおむね想定どおりに管理運営されている場合を水準どおりとして1点、管理運営に改善が必要な場合は水準を下回るとして0点の3段階で評価いたします。

なお、都民が利用する公設の駐車場でございますので、安全性の確保や利用状況などを特に重視し、確認項目のうち10項目の配点を2倍としております。

全て水準どおりと評価された場合の合計点は50点となりますが、これを標準点といたしまして、評価基準は、67点以上がS評価、63点から66点までがA評価、45点から62点までがB評価、44点以下がC評価となります。

次に、二次評価でございます。本日の評価委員会におきまして専門的な観点から評価いただくものでございます。

評価基準としましては、管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設をS評価、以下、A、B、Cと評価していただくものでございます。

また、評価委員会の審議は原則として公開し、議事録も公表いたします。

最後に、(3)の総合評価でございます。一次評価と二次評価の結果に基づきまして、所管局が総合評価を決定し、評価結果を公表するものでございます。

指定管理者評価制度の概要の説明は以上でございます。

○高橋委員長 ありがとうございます。ただいまの資料1について、御質問、御意見ご

ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、一次評価の結果について事務局から説明をお願いいたします。

○大和田課長　それでは、建設局で実施しました一次評価の結果について御報告させていただきます。資料2を御覧ください。

各駐車場の概要とこれまでの評価は表のとおりでございます。先ほど御説明したとおり、令和2年度は八重洲駐車場が評価対象外のため、残りの5つの駐車場を評価対象としております。

表の一番右の赤枠内に令和2年度の一次評価を記載しておりまして、上から、日本橋駐車場がA評価、宝町駐車場、新京橋駐車場、東銀座駐車場、板橋四ツ又駐車場がいずれもB評価となりました。括弧内には旧指針による評語を記載しております。過年度の比較につきましては、それを御参照ください。

2番目に、評価概要を御覧ください。八重洲駐車場外4駐車場につきましては、各場共通の取組といたしまして、①最大料金の設定や30分未満無料化、荷さばき車両や工事車両の受入れにより、渋滞対策、路上駐車対策に貢献した点、②充電設備の設置により、電気自動車等の普及促進に寄与した点、③警察・消防との防犯訓練や防災訓練に力を入れることにより、利用者の安全・安心を確保した点などを高く評価しております。

次に、駐車場別の利用状況でございます。括弧内の増減台数は、新京橋駐車場のみ閉鎖期間のなかった平成29年度との比較で、その他の駐車場につきましては前年度との比較で記載してございます。

総利用台数は、日本橋、宝町、新京橋、東銀座の4場いずれも大きく減少しました。一方で、時間貸利用台数につきましては、日本橋、宝町では増加し、新京橋、東銀座では減少しております。

また、板橋四ツ又駐車場につきましては、①から⑤の取組は先ほどの八重洲外4場と同様でございます。また、利用状況としましては、総利用台数、時間貸利用台数、30分未満無料の利用台数、いずれも増加しているところでございます。

一次評価の概要は以上でございますが、最後に、今後のスケジュールをお伝えいたします。本日の評価委員会による二次評価の決定を受けまして、8月上旬頃に建設局において総合評価を決定いたしまして、その結果を9月上旬にプレス発表する予定でございます。

続きまして、各駐車場の一次評価の詳細について、担当から御説明申し上げます。

○原田課長代理　それでは、資料3の評価一覧表の1枚目を御覧ください。各駐車場の

一次評価の内容をまとめたものでございます。

評価項目ですが、左端の管理状況と事業効果とに大きく分け、管理状況については、上から、適切な管理の履行、安全性の確保、法令等の遵守、適切な財務・財産の状況の4つの視点から確認項目を設定しております。事業効果につきましては、事業の取組、2枚目に行きまして、利用の状況、利用者の反応の3つの視点から確認項目を設定しております。各項目の評価が水準を上回る場合はオレンジ色、水準どおりは緑色、水準を下回るは黄色、評価対象外はグレーに色分けをしております。

1枚目にお戻りいただきまして、オレンジ色の水準を上回ると評価した項目は、その内容を記載してございます。例えば、一番上の適切な管理の履行の⑤人員配置・職員の人材育成では、中央監視室に指定管理者選定要項で示したよりも多い人数の法定資格者を配置したことを、水準を上回ると評価いたしました。こちらは、一番右の板橋四ツ又駐車場を除いた4場共通の取組でございます。

中央監視室では、駐車場内の設備の監視を行っておりますが、指定管理者の選定時に都が示した選定要項では、配置が必要な法定資格者として、第三種電気主任技術者は常勤職員1名で6か所まで兼任可能、第一種電気工事士は常勤職員1名以上としてございます。これを、より多くの法定資格者を配置することで、常に一定レベルの管理水準が保たれ、駐車場の管理技術も継承される、緊急時も複合的に対応できることから、指定管理者の努力で、より手厚い人員配置がなされていることを評価いたしました。

また、安全性の確保の③警備・防犯体制では、大型連休期間や年末年始に警備員を増員して警備を強化したことや、警察署の協力を得て防犯訓練を行い、場内の安全を確保したことなどを、水準を上回ると評価いたしました。

次に、事業の取組の⑤利用料金の工夫では、最大料金や30分未満無料化など、利用者のニーズを反映した利用料金を設定し、積極的なPRを展開したことを、水準を上回ると評価いたしました。

さらに、⑦環境施策への協力等では、一番右の板橋四ツ又駐車場における取組といたしまして、パーク&ライド割引の実施や急速充電器の設置、駐車場利用者は無料で利用可能なレンタサイクルの実施など、環境施策に貢献する取組を行ったことを、水準を上回ると評価いたしました。

2枚目を御覧ください。利用の状況につきましては、右上の凡例にございますとおり、利用台数等の実績値が、前年度と比較して110%または1.1倍以上の場合を水準を上

回るとしてオレンジ色、90%以上110%未満または0.9倍以上1.1倍未満が水準どおりで緑色、90%または0.9倍未満が水準を下回るで黄色、評価対象外をグレーで着色してございます。

なお、新京橋駐車場につきましては、上段の※の3に赤字で記載しましたとおり、平成30年9月から令和元年9月まで改修工事により閉鎖をしておりました。このため、一部の項目を除きまして、直近で閉鎖期間のなかった29年度実績を30年度の欄の左側に赤字で記載し、前年度比の欄は29年度比を赤字で記載してございます。

各項目の評価ですが、①総利用台数は、板橋四ツ又駐車場以外の4場で大きく減少いたしました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、外出機会が減少したことの影響が表れてございます。

一方で、②時間貸利用台数は、日本橋、宝町、板橋四ツ又の3場で前年度を上回りました。こちらは、朝の時間帯に入庫し、夕方まで駐車する、通勤利用と見られる車両が増えたことが一因と考えられます。

それから、⑤の定期契約の新規・継続件数は、数値が小さいために少しの変動で評価が分かれてしまいましたが、八重洲の次に改修を控えております日本橋や、八重洲を閉鎖する際に定期契約車両を多く受け入れた宝町では、新規契約を受け付けていない状況でございます。

その下の⑥収入額の基準額との対比では、日本橋、宝町が水準を上回り、板橋四ツ又が水準を下回る結果となりました。

最後に、下の方ですが、利用者の反応は、①から⑤が利用者アンケートでの満足度でございます。結果は、全項目で十分満足と、まあ満足の回答が80%以上となり、水準を上回る評価となりました。

以上の確認項目の評価から、一番下の赤枠内に各駐車場の合計点と評価結果を記載してございます。

続きまして、駐車場ごとの採点等を御説明いたします。資料4を御覧ください。

各駐車場が両面印刷で4ページの表から成ってございます。先ほどの資料3でも一部の内容を御説明しましたので、特筆すべき取組やポイントのみ御説明いたします。

各駐車場で共通する取組につきましては、日本橋駐車場で御説明いたします。

1ページを御覧ください。上段の適切な管理の履行の5番、人員配置・職員の人材育成ですが、有資格者の手厚い人員配置につきましては先ほど御説明したとおりでございます。

す。

下段の安全性の確保の2番、防災対策ですが、消防署と連携した自衛消防訓練や無線通信訓練を実施するなど、対策を強化しているため、水準を上回ると評価いたしました。この項目はウェイトづけを行っておりまして、得点が2倍となります。

その下の3番、警備・防犯体制ですが、この項目もウェイトづけを行っており、得点が2倍となります。大型連休期間や年末年始に警備を強化した点などから、水準を上回ると評価いたしました。

2ページを御覧ください。上段の法令等の遵守と、下段の適切な財務・財産の状況ですが、指定管理者の選定要項や協定に定める管理水準が維持されているため、全項目で水準どおりといたしました。

3ページを御覧ください。上段の事業の取組の5番、利用料金の工夫ですが、この項目も利用者サービス向上のため重要であり、配点を2倍としてございます。12時間2,400円の最大料金や30分未満無料化など、路上駐車対策が目的である都営駐車場の設置趣旨に沿う取組を行った点で、水準を上回ると評価いたしました。

6番、地元との連携ですが、地元や警察署と防犯パトロールを行い、治安の向上や違法路上駐車削減に取り組んだことなど、地元や警察署と連携し、安全・安心なまちづくりに貢献する取組を行った点で、水準を上回ると評価いたしました。

7番、環境施策への協力等ですが、30分未満無料化と併せました荷さばき車両の受入れやカーシェアリングの受入れを行い、環境面に貢献した点などから、水準を上回ると評価いたしました。

下段の利用の状況は、1番の総利用台数、2番、時間貸利用台数、4番の販売件数、6番の収入基準額との対比の4項目の配点を2倍としてございます。日本橋は、3番の修正回転率と6番、収入基準額との対比が水準を上回り、1番の総利用台数と5番の定期契約新規・継続件数が水準を下回りました。

4ページを御覧ください。利用者の反応は、2番の職員等の対応の配点を2倍としてございます。日本橋は、1から5の5項目で十分満足と、まあ満足を足した割合が80%以上となり、水準を上回りました。

これらの結果、合計点は65点で、A評価となりました。

続きまして、宝町駐車場でございます。少し飛びまして、7ページを御覧ください。

下段の利用の状況ですが、6番の収入基準額との対比が水準を上回り、1番の総利用台

数、3番、修正回転率、4番の販売件数、5番、定期契約新規・継続件数が水準を下回りました。

8ページを御覧ください。これらの結果、合計点は61点で、B評価となりました。

続きまして、新京橋駐車場でございます。ページが飛びますが、11ページを御覧ください。

下段の利用の状況ですが、1番の総利用台数、2番、時間貸利用台数、4番、販売件数が水準を下回りました。

12ページを御覧ください。これらの結果、合計点は59点で、B評価となりました。

続きまして、東銀座駐車場でございます。15ページを御覧ください。

下段の利用の状況ですが、1番、総利用台数、2番、時間貸利用台数、3番の修正回転率が水準を下回りました。

16ページを御覧ください。これらの結果、合計点は60点で、B評価となりました。

最後に、板橋四ツ又駐車場でございます。19ページを御覧ください。

下段の利用の状況ですが、5番、定期契約新規・継続件数と6番の収入基準額との対比が水準を下回りました。

20ページを御覧ください。これらの結果、合計点は61点で、B評価となりました。

資料4の説明は以上でございます。

続きまして、利用者アンケートの結果について御説明いたします。資料5を御覧ください。

令和2年度に指定管理者が実施しました利用者アンケートの結果を駐車場ごとにまとめたものでございます。

調査方法は、例年どおり、時間貸利用者に対しては場内で配布して回収し、定期利用者に対しては郵送し返送していただきました。

令和2年度も、指定管理者の努力によりまして、例年並みの回答数を確保してございます。

結果でございますが、十分満足と、まあ満足を足した割合が全駐車場の全項目で80%以上となりました。

主な意見としましては、例年よく寄せられます意見の他に、電気自動車用の充電設備の数や種類を増やしてほしいという意見が、前年度までよりも多く寄せられたことが特徴でございます。こうした意見も踏まえ、今後、指定管理者が充電設備の拡充を予定している

ところでございます。

利用者アンケートにつきましては、指定管理者の評価に資するだけでなく、利用者の意見を把握する貴重な機会でありますので、今後も実施して結果を管理運営に反映していくよう指定管理者を指導してまいります。

一次評価の結果につきまして、事務局からの説明は以上でございます。

○高橋委員長　　どうも御苦労さまでした。それでは、今、資料3、4、5について詳しく説明いただきましたけれども、質問、それから御意見、何でも結構です。どこからでも結構ですので、いただきたいと思います。どうぞ。

○守泉委員　　表現の問題なのですけれども、安全性の確保の3番のところで、大型連休期間や年末年始に警備員を増員し、場内の警備を強化することで安全を確保したということなのですが、今回は大型連休とかそういうときに、緊急の措置が出されていますよね。そうすると、そもそもそれが出されると、この前の相関のところを見ていくと、感染者数よりも、そのような措置によって車の流れとか人の流れが大きく変わってきている。例えばそういう宣言がされた段階で減っているのに、警備員を逆に増やしているというのは、ちょっと矛盾した表現になってしまうのではないかと。

だから、実際このところがどうだったのかということをもっとお聞きしたいのと、それから、こういうときに単純に増やしたとしても、例えば括弧書きで、そういう措置の場合を除くみたいな形の記載が必要なのではないかと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○原田課長代理　　まず、利用台数という部分では、おっしゃるとおり、令和2年度のゴールデンウィーク期間については、例年よりも利用が少なかった結果になっております。もう一つの年末年始の方につきましては、ゴールデンウィークほど減っていないといえますか、例年と同じか少し減ったぐらいという感じです。利用台数としてはそういった状況だったのですが、警備の強化につきましては、単に利用者が増えるということだけではなくて、やはり大型連休期間や年末年始は通常と異なる利用者が増えるとか、観光客が増えるとか、そういった利用者の変化にも対応するために、例年、警備を強化しているということですので、ここに書いたとおり、ゴールデンウィーク期間中も実際、警備は強化しております。

○守泉委員　　そこは誤解を与えないですかね。緊急事態宣言の状況も考慮してみたいのを少し加えるとか、単純にこのときだから毎年同じ文章でというのではなくて、何かそ

ういうのを入れた方がいいのかなという気がするのですけれども。

○高橋委員長 最後の評価文の書きぶりということですか。

○守泉委員 ええ。

○原田課長代理 同じ文章が、最後の二次評価の案の方にも出てまいりますので、そちらの方でおっしゃったような表現を追加するようにしていければと思います。

○高橋委員長 今の件にちょっと関連するのですけれども、人員配置は毎年、評価の基準以上に出してもらっているのですが、今年は4つですが、5つの駐車場については、スペースが広いとか、人数が少ないと目が行き届かないとか、他の駐車場と比べてそういう特殊な事情があるのですか。なかなか比較はできないかもしれないのだけれども。毎年頑張ってもらって、いい評価につながっているわけですが、特段、もしかしたら、人を増やさないと手が届かないような事情がこの駐車場にはあるのかなと思うのですけれども、そんなことはないですかね。

私が気になっているのは、構造とか何かで監視がなかなか届かないとか、レイアウトが普通の駐車場とは異なっていて、警備の上で人員を増やさなければいけないような理由があるのか。毎年頑張ってもらっていますよね。いいことなのだけれども、構造的に何かあるのかなと思ったりしたのですが、それはいいです。はい。

○大和田課長 構造的に何かという必要があれば、通常の場合についてもそれなりの配置は必要かなというのがございまして、やはり例年、客数が多いときということで、まず年末年始と連休という設定があり、さらに、先ほど申したとおり、実際に入ってくる利用者が変わってくる可能性もあると。

それから、昨年、4月に緊急事態宣言が出されて、利用台数が実際に見ると減っている状況ではあった。ただ、それが連休のときに続くかどうかというところも、なかなか予測が難しいところで、平日、皆、家で逼塞していく中で、連休になったらどうなるかというところまでなかなか予測が難しいところもございまして、実際、何か起こってからというところ、人が足りないとまずいものですから、やはり安全側で配置している方が駐車場の経営としては安心なのかなというところで、評価すべきかなと考えております。

○高橋委員長 どうぞ。

○守泉委員 あとは、中央監視室とかの機械が古いというか、そういうのがあって、ベテランの人、既存の人でないとできない、やりづらいというのがあるのですかね。

○原田課長代理 老朽化とかシステム自体が古くて使いづらいといった話までは、指定

管理者からは出てきていないのですが、当然、設備の監視は技術的な資格ですとか、あとノウハウというか長年の経験が必要になってくる種類の仕事だと思いますので。

○高橋委員長　これはいずれも電気関係ですね。

○原田課長代理　そうですね。はい。

○高橋委員長　もちろん地下駐車場というか、電気をつけていなければいけないのだけれども、古くなってそういうメンテナンスが大変なのか、それを新しく改修することによってよくなっていくのだと思うけれども、それとも、基準そのものが低過ぎて、このくらいいいいとできないものなのか。必要ないのに余分に電気技術者を置かないと思うのですよね。いいことで、評価は高くなっているのだけれども、毎年これだけ頑張ってくれているのは何か理由があるのかなとちょっと思ったものですから。どうぞ、他のところでも。

○伴委員　アンケートのところで2点ほど気がつきましたので、教えていただきたいと思います。

充電器の関係で、各場につきまして設置をされている実態がよく出ておりますが、今後増やすのであれば、200ボルトがいいのかなという感じがしてまして、現在、100ボルトがついているところも結構あるものですから、せっかく使えるのであれば、やはり需要の高いものをつけた方がよろしいのかなと感じたものですから、つける前にアドバイスしていただければと思ひまして、お話ししました。

もう一点は、タクシーが邪魔だというようなことがアンケートに出ていまして、これがどのくらいの邪魔か、私も分からないのですけれども、実態調査までいかななくても、1日何台ぐらい、どこの事業者がどういうことをしているのかというぐらいは、ヒアリングなりなんなりして、実態を把握しておいた方がよろしいのかなと思ひました。昔の東京の八重洲口のようなタクシー待ちが並んでしまうと、ちょっと困るなと思ひまして、今の段階では合法的に駐車されていると思ひますけれども、今後必要があれば、何かハードルをかけるような、規則を変えるなりなんなりが必要になるのではないかと思ひますので、実態だけはしっかり調査していただければなと思ひまして、お話しさせていただきました。

○高橋委員長　休憩場所になっているのですよね。

○伴委員　110番は入っていないですね。合法的に止められていると。

○原田課長代理　そうですね。そこまでにはなっていないのですが。

○伴委員　よろしくお願ひします。

○原田課長代理　1点目の充電設備の御意見につきましては、おっしゃるとおり、今ま

で100ボルトコンセントについては各場に設置されていたのですが、200ボルトはまだ1つもなかったということで、100ボルトよりは時間もかからない200ボルトコンセントを、今後、今年度からの5年間で順次、指定管理者のほうで設置していく予定になっております。

○守泉委員 100ボルトと200ボルトは、200ボルトの方が急速充電ができるのですか。私はよく分からないのですが。

○伴委員 時間が速いはずです。

○高橋委員長 充電時間が短いのだと思います。

○守泉委員 そういうニーズは200の方にあるのですかね。

○前田部長 例えば100ボルトだと、車によりますけれども、10時間以上かかるものが、200ボルトだと2時間ぐらいで済んでしまうような感じになりますので、駐車時間中にかなりの充電ができてしまうような感じになります。

○高橋委員長 改修を次々にやっていますよね。そこでは今言った200ボルトにしているわけですか。

○原田課長代理 改修の中でやるわけではないのですが、当然、改修と連動してといたしますか、改修が終わった駐車場から設置していくとか、スケジュールは調整しています。

○高橋委員長 日本橋は今、工事中ですよ。このアンケートを見ると、100ボルトは3基あるけれども、今後、200ボルトコンセントを設置予定になっているから、改修時に200ボルトにしていくというようなことをやろうとしているわけですね。ないしは、もう済んでいるのかもしれないけれども。

○原田課長代理 日本橋は今後、工事に入ります。今は八重洲が工事中です。

○高橋委員長 そうすると、他も全部200ボルトに変えて。

○原田課長代理 200ボルトは全駐車場に入れていく予定になっています。

○高橋委員長 それから、今までもこういう答えがあったかどうかなのですが、利用料金で、最大料金をもう少し安くしてほしいという声があちこちで見受けられるのだけれども、ないしは最大料金を下げてほしい、毎年こういうのは何件かあったのですか。それとも、今回こういうのが特に出てきたのですか。

○原田課長代理 初めてではないです。毎年一、二件はたしかあったと思います。

○高橋委員長 利用者から見れば、安い方がいいと思うでしょうけれどもね。

○守泉委員 料金の設定のところで、変動しているのは、今、どのような形でやってい

るのですか。最大料金とか、料金の変動のやり方は。時間に合わせて。

最大料金という言い方をしているのは、具体的にどのような形か。

○原田課長代理 12時間までの駐車時間でしたら2,400円一律ですよという形になっておまして。

○守泉委員 ちょっと条例を見ていないから分からないのですけれども、今後、例えば、ピークロードプライシングみたいな形で、今、列車の時間なども状況によって変動させられないかという議論になっているではないですか。だから、駐車場とかそういうものにピークロードプライシングを今の制度の中に入れられるのか、どうなのかなと思ったのですけれども。

○原田課長代理 制度上は可能といいますか、条例で定めているのは料金の上限額だけでして、その範囲内で様々な料金設定をするのは、指定管理者のやることとなっています。

○守泉委員 例えば安いとか高いというのは、主観的な問題の部分があって、例えば混雑していて、自分で入りたいのに、みんな同じだから、そこは高くてもいいよねと思う部分はあるかもしれない。ただ、空いているのに、この料金かよみたいな、というような主観のところもあるのかなと思ったので、そうすると、そういうことを導入していけば、この辺の感覚は解消できる部分がありますよね。

○高橋委員長 あると思いますね。日本ではなかなか難しいかもしれないですけども、海外では、中心部に近いところほど高いというような設定をして、できるだけ街の中でも空いている、ちょっと外れの方に止めてもらうというインセンティブをつけているけれども、日本ではなかなかそこまではできないですよ。不公平だみたいな議論になったり。

だから、もしそういうことができるようになると、交通の平準化のためによくなるし、今、守泉委員がおっしゃったように、もし時間で変えるようなことができれば、混雑状況などのコントロールもできるようになるけれども、まだそこまではできていないかもしれませんね。

○守泉委員 ヨーロッパなどだと、街のど真ん中に車は入れないのです。だから、その感覚を知っているとすれば、一番いいところにこういうのがあるというのは、安いとかの問題ではなくて、恵まれていると思うのが普通なのですからね。

○高橋委員長 そうですよ。今みたいにいろいろな情報技術が発達しているから、今

の時間だとあの駐車場は50円高いと。外れの方に止めると50円安いみたいなのが分かってきて、安い駐車場を選ぶという、ナビみたいな、単に時間だけではなくて、料金も含めて、安いところ高いところが表示できて、選択できるようになればいいですね。そのようになっていけばいいと思うのです。

○守泉委員 民間のものは、どこが安いと表示してくれるのが携帯でありますよね。空いているとか。

あと、防災対策なのですけれども、今まで防災対策といった場合に、いつも地震だけというのが多かったのですが、今、防災といったときには、例えば東京都のBCPでも水害と富士山の噴火はありますし、いつも心配なのは、東京のこういうど真ん中だと、線状降水帯ができているときに、本当にこの辺は大丈夫なのかとか、ここは大丈夫でも、近くが危ない場合に、そういう避難がこういうところにあるのかとか、その辺のところも含めて防災といったときに、もう少し広いリスクに対して対応できているのかどうかというのが、ちょっと疑問なところがあるのですけれども、その辺は東京都が指導されているとか何かというのはあるのですか。

この対象年度でなくてもいいのですけれども、そろそろそういうことも考えていかないと、実は都立の公園で防災公園といったところでも、防災といったら地震しか考えていないところがすごく多くて、水害に対して防災公園なのにその公園自身が浸水してしまうようなところも2か所ぐらいあるのです。だから、そういうことも、もうそろそろ防災の中に広く捉えてやっていく時期なのかなと思われるのですけれども。

○高橋委員長 地下だからね。

○守泉委員 富士山が噴火したら、恐らく電気自動車は動かなくなるでしょうね。ガソリンはいいかもしれないけれども、電気系統がみんなやられてしまいますから。

○高橋委員長 ガソリンも駄目だと思いますよ。

○大和田課長 ガソリン車も、結局、電気を使いますので。

○高橋委員長 それから、違うことで、アンケートなのですが、今回の評価はいいのですけれども、例えば今年のこういうアンケートをもうやったか、これからやるか分かりませんが、やりますよね。もしまだだとすると、コロナの影響で、通常は車を使わなかったのに、使うようになったとか、そのような人がどのくらいいるのかというのをちょっと知っておきたいと。このサンプルで定量的に数字を得ようとするわけではないのだけれども。

それは、今回のあれでも、駐車場によって、増えたところと減ったところとありますよね。なぜこうなるのかというのは難しいのだけれども、駐車場によっては、コロナで、今まで電車に来ていたのをやめて、車で来たみたいな人が多い駐車場もあるかもしれないし、これから来年以降、どうなるか分かりませんが、アンケートがもしままだったら、ちょっとそういうことも聞いてもらえたらいいかなと思うのです。

○原田課長代理 はい、分かりました。

○守泉委員 板橋四ツ又が増えているのは、事前の説明のときにも、そんな話をしましたよね。もしかして、近隣のところで車での移動が増えているという流れがあるのではないですかみたいな。

○高橋委員長 多分そうでしょうね。はい。

○伴委員 先ほどの関係であれなのですけれども、この駐車場につきましては、災害時とか震災時のときの防災拠点とか避難場所とか、何か指定は受けているのでしょうか。

○原田課長代理 そういった指定はされておられません。

○前田部長 高いところであれば、例えば水害対策等で、今、実際に使えるかどうか検討中なのですけれども、首都高に避難ができるかどうかも含めて、都市整備局を中心に検討を始めていたりしますが、我々の駐車場は逆に低いところにありますので。

○伴委員 例えば、核弾頭が落ちてきたら。堅牢なところに逃げてくれとか、やっていますよね。

○前田部長 それにしては若干浅いのかなというところがあります。もうちょっと深いところの方が逆に核弾頭だと。

○伴委員 確かにそうですね。

○高橋委員長 ちょっと話がそれで申し訳ないのですが、今の首都高の話は、高速道路の路面にということですか。高架下。

○前田部長 高架下ではなくて、高架上を避難場所として確保できないかという。

○高橋委員長 倒れなかった、しっかりしているところは、そういう使い方もできるだろうということですね。

○前田部長 例えば江戸川とか江東とかあの辺りの浸水の可能性があるところについては、区の方から要望は出ていて、それを東京都としても、国も関係しますので、関係機関等と今検討しております。

○守泉委員 防災の関係の研究会とかで話が出ているのは、やはり東京の東側の今おっ

しゃったその辺の地域のところが、江戸川も含めて浸水した場合に、実際には千葉の方に橋を渡って移動するしかないというのが結構言われていますよね。

あともう一つは、最近の新しい考え方の中では、建物とかの1階はもう水が入ってもしよがないと。2階以上のところで防げばいいという研究結果を出している東大の先生とかもいらっちゃって、私も、建物はそうかもしれないけれども、そうなってしまうと、車も全部駄目になりますよねという話をしたら、そこまで考えていなかったとか言われて。だから、そういう中でそういう案が出ているのでしょうかね。

○前田部長 守泉先生がおっしゃったように、千葉の方に逃げるしかないというのは、片や逆に、千葉に渡れる道路がかなり限られていますので、その橋梁整備というのも1つ課題になっていますし。

あと、首都高の話についても、実際、今、そういった御要望はあるのですけれども、緊急時に緊急車両の通過交通、あと物資の通過というのもありますので、そことの兼ね合わせをどうするのかというのも課題になっていまして、すぐ例えばこれでこうというようにできていくということではない状況です。

○高橋委員長 緊急輸送道路は、いざとなると、物資とか自衛隊が救援に向かうとか、そういう意味で幹線道路が指定されていると思うのだけれども、もし首都高が機能がきちんとしていれば、そこに人を上げたら使えなくなってしまうから、まず上げては駄目だと。

だけれども、被害を受けたにしても、全部駄目なわけではなくて、きちんと残っている区間があれば、そういうところは、自動車は走れないわけだから、人だけはそこに乗せて、取りあえず浸水とかそういうのに対応するという考えはあるかもしれないけれども、これから議論するのは大変ですね。

○前田部長 ええ、そこを議論していかなければいけないのかなと思っています。

○高橋委員長 各駐車場、全部、コロナで減るかと思ったら、そうでもないのですね。増えているところもあるのですね。

だから、新型コロナの緊急事態宣言が出されて、都心に働きに来るのをやめて、遠隔地で働いてくれとか、いろいろな話があるけれども、そういうことから見て、これが減ったことが、そういう政策が効いていることなのか、そうではないのかという辺りはちょっとね。だから、利用者が減ったということを悲しんでいいのか、むしろ、もうちょっと積極的な意味があるかもしれないというようなことが分かれば、またいいのですけれども、今

のところ、何とも言えないですね。

○守泉委員　よく最近の研究会とかの中でも、コロナ後のときの交通政策は確実に大きく流れが変わっていくのだろうということは言われているけれども、では具体的にどうなのか、どうしたらいいのかというのは、今、議論が分かれていますよね。研究者が新しい論文を出すときに、今出すのがいいのか、ある程度結果が出て、それを受けてやった方がいいのかという議論になっていますよね。

○高橋委員長　例えば在宅勤務なども増えていますよね。もしかしたら、コロナがなくなっても、在宅勤務はある程度やってもいいのではないかと。そうすると通勤問題とか、場合によっては住宅も、都心に近いところに住まなくても、ちょっと離れたところで、1週間に1遍か2遍だけ都心に働きに来ればいいのかもかもしれないし、在宅で全部I o Tで仕事ができるようになるかもしれないというような話もあるけれども、これはこれから5年とかそのぐらいで少しずつ変わってくるのではないですかね。5年ぐらいたってみると、世の中が全く変わっているというようなことになるのではないかという気がするのですけれどもね。

今、なかなか評価できないですね。都の中でも働き方は、自宅で仕事をするケースもあるわけでしょう。

○大和田課長　基本的に今は、この端末を毎日持って帰って、毎日テレワークをやれというのが基本にはなっているのです。

○高橋委員長　コロナが終息したって、そのままでもいいではないかという話になってしまうかもしれない。そうすると、いっそ、半分でいいということになるかもしれない。

○守泉委員　国は、今、オリンピックの時期のときには、リモートで仕事をする人の割合を増やせと内閣府も言って、やっていますよね。

○高橋委員長　それも、今度、無観客となってしまったから、また状況が変わってきましたよね。

さて、他にいかがでしょうか。もしよろしければ、二次評価の方に入りたいのですが、よろしいでしょうか。

それでは、二次評価に入りたいと思いますので、事務局から説明をお願いします。

○原田課長代理　それでは、資料6の1ページを御覧ください。A4横の資料でございます。

二次評価の案の説明に入ります前に、審議の御参考としていただきたい内容をまとめま

したので、御説明いたします。

まず、左側の利用の状況についてですが、令和2年度は大きく2つの特徴がございました。1つは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、総利用台数が5場中4場で前年度より大きく減少した点でございます。特に初回の緊急事態宣言が発出されました4月から5月にかけて、減少が大きかったことが確認できてございます。

一方で、時間貸利用台数は、5場中3場で前年度より増加いたしました。通勤のための自動車利用が増えるなど、移動手段の変化がその一因と考えられます。

各駐車場の総利用台数と時間貸利用台数の増減を、下段の表にまとめておりますので、御参照ください。

次に、右側の利用者サービス等の取組を御覧ください。こちらは、一次評価において、得点の加算という形では評価に反映し切れていない取組を3つ挙げてございます。

1つ目に、DX、デジタルトランスフォーメーションの取組としてのキャッシュレス化でございます。以前から対応済みであったクレジットカードと電子マネーに加えまして、新たにQRコード決済にも対応を始めております。東京都では、都有施設のキャッシュレス化を進めているところであり、都の施策に貢献したと言えるものでございます。

2つ目に、駐車場シェアリングサービスの拡大でございます。駐車場シェアリングとは、民間事業者の専用ウェブサイトなどから、駐車場の利用予約ができるサービスでありまして、カーシェアリングとは異なるものでございます。曜日や台数などを限定してはおりますが、利用者の利便性向上を図るだけでなく、空き駐車場探しによるうろつき交通の削減や、駐車スペースの有効活用にも資するものでございます。

3つ目に、新型コロナウイルス感染症対策として、東京都の感染拡大防止ガイドラインに沿った対策を実施してございます。ただ、今後の研究の進展により、有効な対策が見直される可能性もありますので、最新の動向を注視して対応していく必要がございます。

参考資料の説明は以上でございます。

2ページをご覧ください。ここからが、駐車場ごとの評価票でございます。

左側に一次評価のポイントを、中央に二次評価の案を記載してございます。また、右側に記載しました、前回、令和元年度の二次評価と今回の二次評価（案）とで異なる箇所には下線を引いてございます。

中央の二次評価（案）の記載内容を御審議いただきまして、評価をS、A、B、Cの4段階で決定いただければと存じます。

最初に、2ページの日本橋駐車場でございます。中央の二次評価（案）を御覧ください。

上段の管理状況の5番目に、新型コロナウイルス感染症対策として、管理室窓口に遮蔽物や消毒液を設置し、利用者の安全・安心を確保した点を追加してございます。この点は、他の4場も同様でございます。

下段の事業効果の4番目には、クレジットカードや電子マネーに加え、新たにQRコード決済に対応し、都が推進するキャッシュレス化に貢献した点を追加してございます。この点は、宝町、新京橋、東銀座も同様でございます。

その下が、利用状況についての記載でございます。前年度と比較して、総利用台数が22.8%と大きく減少し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出機会減少の影響がうかがえる一方、時間貸利用台数は2.3%増加した点を記載してございます。

その下の、地域貢献についての記載でございます。新型コロナの影響により、例年参加していた地元の祭典が中止となりましたが、他の地域活動などに参加できましたので、地域のイベント等としていたところを、防犯パトロール等に替えてございます。この点は、宝町、新京橋、東銀座も同様でございます。

3ページ、宝町駐車場でございます。下段、事業効果の5番目に、総利用台数が19.9%減少し、新型コロナの感染拡大による外出機会減少の影響がうかがえる一方、時間貸利用台数は7.9%増加した点を記載してございます。

4ページ、新京橋駐車場でございます。下段、事業効果の5番目に、閉鎖期間のなかった平成29年度と比較して、総利用台数が16.0%、時間貸利用台数が13.3%減少し、新型コロナの感染拡大による外出機会減少の影響がうかがえる点を記載してございます。

また、一番下に入れておりました大規模改修への協力に関する記載を削除し、他の4場と同様に、利用者アンケートの結果についての記載を追加してございます。

5ページ、東銀座駐車場でございます。下段、事業効果の5番目に、総利用台数が12.0%、時間貸利用台数が11.7%減少し、新型コロナの感染拡大による外出機会減少の影響がうかがえる点を記載してございます。

最後に、6ページ、板橋四ツ又駐車場でございます。下段の事業効果の4番目に、総利用台数が2.6%、時間貸利用台数が8.8%、30分未満無料利用台数が17.4%、それぞれ増加した点を記載してございます。

二次評価（案）の説明は以上でございます。御審議よろしくお願いたします。

○高橋委員長　この二次評価（案）について、御質問、御意見いただきたいと思ます。

今年、大きく違うのは、利用台数ですよ。これなのですけども、理由はいずれも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により云々と書いてあるのですが、総利用台数が減ったところがあれば、増えたところもある。それから、時間貸利用台数についてもそうですが、これ全部、増えても減ってもコロナの影響ですと、一言で言っているのだけれども、これでいいかどうかというのはちょっと気になるのです。

かといって、総利用台数と時間貸しのそれぞれの増減をコロナの影響で、これはこういうことで増えた、これはこういうことで減ったというように特別に書き出すほどの因果関係も私たちは分からないと。ただ、増えても減ってもコロナの影響だと一言で全部片づけてしまうような形でいいかどうかなのですよ。この書きぶりがちょっと気になる。

○原田課長代理　今お示ししている案は、総利用台数が減った部分についてのみ、コロナの影響だということを入れておきまして、時間貸しの方が増えたことについては、コロナの影響だということを入れていない案になってございます。

○守泉委員　四ツ又は両方増えているから、ここはコロナの影響でという表現は使っていないですよ。

○大和田課長　減った方だけ使っています。

○高橋委員長　では、そこはいいとして、増えたことについての因果関係は分からないですよ。

○大和田課長　先ほどちょっと説明しましたが、通勤客みたいな人が朝入れて、夜出しているよという例はあるのですが、それだけで増えているかということ、そうでもないということもあり、また、日本橋と宝町は時間貸しが増えているのに、新京橋と東銀座は減っているのです。一台一台どういうつもりで利用するに至ったかというのはちょっと分からないのと、利用をやめた人は全然分からないものですから、非常に苦慮したところです。

○高橋委員長　だから、これも新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、外出機会減少の影響がうかがえると書いてあるから、このぐらいの書き方しかできないのだろうな。

1枚目の利用の状況と利用者サービス等の取組の辺りの記述はいかがでしょうか。

○守泉委員　ちなみに、すごくつまらないことなのですけども、アンケートでは、安心・安全・清潔さと書いてあって、今回の二次評価のところは、安全・安心と、安全が先

にあるのは、アンケートの安心・安全とか、評価項目のところの安心・安全の評価基準は、外には出ていないのでしたっけ。それとかは合わせなくてもいいのかな。

○大和田課長 通常、使うとなると、まず安全があり、それで安心という使い方が多いです。

○守泉委員 野党が言うには、安全は客観的だけれども、安心は主観的だろうと。

○大和田課長 どう安心するかどうかは主観的なところがやはりあるだろうなということ。

○守泉委員 だから、安全・安心というのがよく言われているのだけれども、利用者の反応とかそういうところの評価基準のところ、安心・安全・清潔さになっているので、そこは大丈夫ですかね。

○高橋委員長 犯罪率とか、火災の危険度とかは一応指標が何かありそうだけれども、安心となると気持ちの問題が入ってくるから、難しいですよ。でも、今、安全・安心だよ。

○大和田課長 安全・安心が通常だと思います。ちょっと今、手元に資料がないのですが、実際にアンケートを取ったときの、アンケート用紙の見出しのところの言葉を多分拾っている。

○守泉委員 コロナになってから、安全・安心の意味がより加わってきて、今までの駐車場としての安全・安心にプラスして、コロナの感染に関しての安全・安心も少し増えてきているので。

○高橋委員長 全般的な印象なのですけれども、この4回の緊急事態宣言があって、都心の人が少なくなった。だんだんとそれが効果が薄くなってきたと言いながら、減ったということで、駐車場の利用もがくんと減っているかと思ったら、この程度なのですね。

○守泉委員 だから、青空駐車場みたいに、そういう外気に触れるようなところは案外多いけれども、地下で結構な数字が出ているというのは、どういうことなのだろうねと。やはり役所がやっているから安全だと思ったのか、どこに理由があるのかなというところなのですけれども。

○高橋委員長 私たち研究者の立場から言うと、この辺のアンケートとかそういうのを詳しく調べると、非常に重要な知見が得られると思うのです。これから、こういうコロナのようなことで、リモートワークとか、それから都心に居住しなくてもいいような話になってきたときに、交通がどうなるかということをしっかり調べておいたら、本当はいいの

だよ。ちょっと今回のことには関係ないかもしれませんが、せっかく聞くのだったら、聞いておいてほしいなと思って、さっきも発言したのですけれども。

○守泉委員 鉄道などもそうなのですから、小泉政権以来、日本はみんな、官から民へということを行っているけれども、イギリスは民から官に鉄道とかを戻しましたよね。それは大きな列車の事故が幾つか多発して、やはり公の役割というのがすごく見直されたのです。だから、医療制度もそうですよね。医療制度もイギリスは公がやっているから反応が早かったのです。

ところが、日本みたいに病院とか何かは民営化がすごく進んでいるとなってくると、コントロールが効かなくなってきた、そうすると、今、高橋先生がおっしゃったみたいに、もしかして、改めて公の役割が見直されるきっかけになっているのかなというのもあるのです。

○高橋委員長 これもあらゆるところで、一応収まってからでないとしようがないと思うのですが、これからの都市がどうなるかというのは、ちょっと雑談に近くなるのですが、大きな問題で、駐車場、それから通勤の形態とか、そもそも今のようにボリュームに対応するようなものでずっとやっていかななくてはいけないのか。

それから、交通だけではなくて、オフィスだって、都心にこれだけオフィスをどんどんつくっていくべきなのか。住宅もどこにつくるべきなのか。通勤の形態も、もしかしたら、1週間のうち2日ぐらい通って、あとはリモートでできる。実はできているわけですよ。それで経済が全く駄目だというわけでもないみたいだと。経済成長しているなんて話も出ているぐらいですから、そうすると、これから、来年、再来年という話ではなくて、10年、20年たつと、都市の構造は変わるし、例えば東京都の役割なども、大きくなるのか、小さくなるのか、機能が違ってくるのかというのは物すごく大きな問題ですよ。

駐車場1つとっても、調べなければいけないことがたくさんあるのだけれども、交通、住宅、全ての面で変わってくると思いますね。

今、こういう状況だから、今こそ調べておきたいのだけれども、調べる余裕がないですよ。なぜ、あなたは車で来ることになりましたとか、なぜやめましたとか、そういうことを調べておけば非常にいいのだけれども、こういうときにそんなことを調べたらあれだしね。

○守泉委員 確かに車も、一時、シェアリングがすごく増えたりして、若い人は車に乗

らなくなったと言われたのが、コロナによって確実に車の購入とか、中古が増えていきます。中古で買おうとかというのが増えてき始めているので、何か大きな流れがあるのかもしれないですね。

○高橋委員長　これだけ家で仕事ができるというのはね。今、できてしまっているわけですね。

さて、他にございますでしょうか。

それでは、もしよろしければ、二次評価の方に入りたいのですが、よろしいでしょうか。

駐車場ごとに審議していきたいと思います。

初めに日本橋駐車場から始めたいと思うのですが、日本橋駐車場についての御質問とかそういうのはございますでしょうか。

それでは、評価に入ってよろしいでしょうか。特に御意見、御質問がなければ、日本橋駐車場についての当委員会の評価を決めたいと思います。

これは、資料2を見ていただくと、一次評価がここに出ておりますが、一番右端の赤で囲ったところですね。

○原田課長代理　はい。

○高橋委員長　ここでAになっておりますが、Aでよろしいでしょうか。点数65点ですね。Sは67点以上ですから。これは65点ですね。よろしいですか。

○原田課長代理　すみません、資料6の二次評価（案）、A4横の資料ですが、この左側の一次評価の一番下に、点数と評価を入れてございます。

○高橋委員長　すみません、資料6の2ページになりますね。日本橋駐車場、一次評価がAですが、我々の評価もAでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、日本橋駐車場の評価はAということにいたします。

次に、宝町駐車場です。3ページになります。これについて何か質問、御意見ありますでしょうか。

○守泉委員　アンケートの中で、カーナビで来れないって、ここはカーナビは表示されないのですかね。

○原田課長代理　恐らく、昭和通りの地下道路から分岐する入り口まで、詳細には案内してくれないという意味だと思います。

○高橋委員長　一次評価は61点のBです。Bでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、宝町駐車場についてはBといたします。

次に、新京橋駐車場ですが、これは4ページになりますね。59点の、これもBですが、いかがでしょうか。御質問、御意見ございますでしょうか。

○守泉委員　アンケートで99%って、過去のものを見るのを忘れたのですけれども、よく出るのですかね。200件ぐらいのサンプル数なので、母集団の状況を、時期にもよりますけれども、件数的には反映しているかと思うのですが。

○大和田課長　アンケートの実施方法なのですが、大きく時間制と定期制に分けておりまして、定期制については、定期契約をその時点でされている方全員に送って、返してもらっているということで、回収率的にいうと、若干戻ってこないのもあるというのが見て取れると思います。

時間制なのですが、時間制については、書いてくださいというお願いをして、書いてくれた人が残っているということで、渡して書かないでゼロになったというのはほとんどない状態なのです。そういうところで、ある程度書いてくれる人が集まっているという若干の傾向があって、無作為にやったと言えるかというところ、ちょっと怪しいところがあります。そういうのを踏まえて、この数字になっていると。

○守泉委員　そういうときに、まあ満足も入れているからかもしれないのですけれども、99.5%が職員等の対応のところに出てきたりとか、あと板橋四ツ又のところでは、同じように99%以上が出ていますよね。そこのところが点数には反映して、評価には反映しているのですけれども、アンケート的に見れば、99%ってなかなか出る数字ではないのかなと思って、もしも99%とかという数字が出てくるのであれば、例えば職員等の対応に対する評価が非常に高いみたいなことを少し言葉で加えてあげるとか、対内的に何かそういうことを、もしもこの99%という数字があまり出ないのであれば、あげてもいいのかなと思うのですけれども。

○高橋委員長　これ、2つ項目を足しているから目立つのではないの。十分満足と、まあ満足。

○大和田課長　いいか悪いかに分けてという評価です。

○高橋委員長　それは分かるのだけれども、そうすると、素の数字をそのまま出しておいた方がいいのではないの。全部90%に近いよな。80%もあるけれども。

○原田課長代理　　例えば、昨年の令和元年度のアンケート結果の中でも、やはり90%台後半、中には99%というような数字もありましたので、全く初めてではないのですが、全体的には、やはり職員等の対応が一番数字としては高くなる、90%台後半が多くなるという傾向はございます。

○守泉委員　　駐車場によっても、例えば職員等の対応によっては、やや不満のところもほとんどないようなくらいで、ほとんどが十分満足になっているようなところもあるので、もしもそれが本当に実際正しいものを示しているのであれば、そういうときは何か一言ちょっと書いてあげてもいいのかなという気はするのです。

○高橋委員長　　このアンケートはその場で渡すのでしたっけ。

○原田課長代理　　はい。

○高橋委員長　　渡して、記入して、箱か何かに入れるの。それとも手渡しをするの。

○原田課長代理　　その場で手渡しで受け取っていることが多いと思います。

○高橋委員長　　目の前で返すときは、気になるから、あまり駄目だなんて書けないけれども。やり方もあるのかもしれない。みんなゼロだな。非常に頑張ってくれているのは分かるのだけれども、よすぎると、何か気になるな。でも、駐車場によつては違うのですよね。東銀座駐車場は、項目によつても違いますけれども、かなり不満みたいなのも出ている。でも、職員等の対応はみんないいな。

よろしいですか。他にありませんか。

新京橋駐車場について、59点でBですが、これもBということによろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

次に、東銀座駐車場ですが、これは60点で、Bになっておりますが、いかがでしょうか。――東銀座駐車場、Bによろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

では、Bとさせていただきます。

最後に、板橋四ツ又駐車場ですが、これもBによろしいでしょうか。ちょっと見ていただきたいと思います。61点です。

コロナのところの書きぶり、ここは書いていないですね。増えているから入れていない。

近隣の工事現場なんていうのは、まだ続いているのですか。

○原田課長代理　　はい、令和2年度も工事現場車両も入っていたはずですが。

○高橋委員長 Bでよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、板橋四ツ又駐車場の評価はBといたします。

これで全部評価が終わったこととなります。どうぞ。

○大和田課長 先ほど一次評価の際に御指摘いただいた、大型連休期間のところをどうするかということで、一応事務局としては、御指摘いただいたとおり、緊急事態宣言の影響等を考慮しつつ、大型連休を対応したという形で、ちょっと文言を足したいと存じますが、いかがでしょうか。

○高橋委員長 いいと思います。

○大和田課長 分かりました。では、そのように修正いたしまして整理したいと存じます。

○高橋委員長 あとは、今後のスケジュールですか。

○大和田課長 それでは、今後のスケジュールについて御説明いたします。

本日、評価委員会で決定いただきました二次評価を、建設局の幹部に御説明させていただきました。そこで総合評価を決定していきます。その総合評価の結果等を評価委員の皆様のお名前とともに、9月上旬、プレス発表する予定でございます。プレス発表の資料案文につきましては、本日の意見等を反映して事務局で作成させていただきます。発表前までに委員の皆様のお手元に届くようにしたいと存じますので、よろしく願いいたします。

○高橋委員長 何か他に発言ございますか。よろしいですか。

それでは、全ての議事が終わりましたので、これで終了したいと思います。令和2年度東京都駐車場指定管理者評価委員会はこれで閉会したいと思います。ありがとうございました。

○大和田課長 それでは、長時間にわたり御審議いただきましてありがとうございました。指定管理者評価につきましては、平成28年度から令和2年度までの指定期間5年間の全ての年度分を御審議いただいたこととなります。今後とも東京都駐車場の管理運営に御意見等がございましたら、お伝えいただければと存じます。

これをもちまして東京都駐車場指定管理者評価委員会を終了いたします。ありがとうございました。

午後3時31分 閉会